



千葉商科大学同窓会

千葉商科大学同窓会ニューズレターは同窓会情報誌「きずな」のダイジェスト版であります。「きずな」本誌は年会費納入者に年3回、お届けし、大学の最新情報、同窓会の活動状況を皆様にお伝えしております。母校愛が蘇ってまいります。

年会費に関する問い合わせは、同窓会事務室で承っております。

☆ご意見、ご要望を

お聞かせください☆

[TEL]

047-371-2665

[FAX]

047-371-2665

[E-mail]

salon@all-cuc.org

同窓会ニューズレターや「きずな」の紹介記事、イベント、連絡事項は同窓会Webサイトに掲載されています。

[同窓会ホームページ]

<http://www.all-cuc.org/>

[発行者]

千葉商科大学同窓会
広報・IT委員会

〒272-8512

千葉県市川市国府台 1-3-1



「東日本大震災」千葉商科大学同窓会からのお見舞い

3月11日の未曾有の「東日本大震災」により被害を受けられた宮城・岩手・福島・茨城・千葉の同窓生の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

一日も早い復興をお祈り申し上げます。

三浦英之同窓会会長ご挨拶



この度の東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害にあわれた皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

千葉商科大学同窓会の情報関係は、2009年6月1日付、同窓会報64号をもって終了し、その年の11月3日初刊の千葉商科大学同窓会情報誌「きずな」が発刊されました。「きずな」は、同窓会や各支部等の活動を中心に、母校の最新情報、現役学生や卒業生の活躍紹介等々、有益な情報を掲載して年3回発刊します。発刊の費用は「同窓会維持会費」つまり年会費制を組み立ててご支援ご協力いただいた方に「きずな」をお送りしています。是非、ご協力をお願い致します。

現在の同窓会本部活動では前期40期から各種委員会に組織委員会プロジェクトを新たに設け、職業別ネットワーク作り、全国未結成支部の立ち上げ、40年代卒業同期会促進等の活動を積極的に行ってきました。

その結果、平成13年5月創立の山口県以来、10年ぶりに、愛媛県支部が国内31番目の支部として誕生し、去る2月11日に松山市井門町にて設立総会を行いました。このことによって他の未結成県に結成の拍車がかかることを期待するものです。

そして40年代の同期会については、47年卒を除き49年卒までの3月末までに結成され、それぞれ母校瑞穂会館にて結成式を行いました。職業別ネットワーク作りも既報の「同窓会議員連絡会」を始めとしてスタートし、他の多様な職業も本格的な活動に向けて前進中です。引き続き、関係者の皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

ホームカミングデー

母校にお越しく下さい そして母校の空気を感じてください

千葉商科大学 第3回ホームカミングデー

メインデー 2011年10月30日(日)開催

瑞穂祭開催期間中<10月28日~30日>はホームカミングデー

10月30日の予定(概要)

<オープニング> 11時から

島田晴雄学長のウェルカムスピーチ

◇千葉商科大学学生自治会吹奏楽団による演奏

◇少林寺拳法部OB・現役による演武

◇応援団OBによるリーダー公開

<展示>

思い出の品々「懐かしき思い出工房」

<卒業生による出店(瑞穂会協力)>

「まごころ一級屋」大野誠治氏

他 千葉県特産品予定

<第42期定期総会> 12時30分から

講演 島田晴雄学長

「日本の岐路と千葉商科大学」



応援団 リーダー公開



少林寺拳法部 演武

同窓会本部からの報告

◇東日本大震災・義援金について

東日本大震災に係わる義援金について、被災された岩手、宮城、福島、茨城、千葉の一部を除き、全国の同窓生の皆様にご協力をお願い申し上げましたところ、770名を超える同窓生のご賛同をいただきました。厚く御礼申し上げます。詳細は本校第42期定期総会ご案内に同封ご送付申し上げます。

◇「維持会費助成」の新設について

支部振興助成費の見直しに伴う各支部の財政事情を考慮して支部助成配分基準を改定し、新たに「維持会費助成」を設けることになりました。これは第41期から予算措置するもので、財源は年会費として徴収する維持会費の10%を充て、配分方法は各支部に所属する会員の維持会費納入者数に基づいて交付するものであります。5月25日付にて配分額の振込及び配分基準の詳細を各支部長宛にご通知申し上げます。

◇昭和40年代同期会と職業別ネットワーク作り

第40期から三浦会長の指針に基づき、同窓会本部各種委員会に組織プロジェクトを設け、未結成支部・同期会・職業別ネットワーク作りを進めております。現在は、ホテル、レストラン、飲食業の会、関西圏、九州圏の支部結成を推進中であります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

愛媛県支部発足・昭和40年代同期会も続々設立

2011年2月11日、愛媛県支部が31番目の支部として10年ぶりに誕生しました。当日は、徳島県加林支部長、高知県浜田支部長も出席し、原田嘉中理事長のお祝いの詞の代読、三浦会長の祝電が披露され、一同、喜びと感激でいっぱいでした。

昭和40年代同期会は、41、45、46、48、49年が続々設立され、残るは47年のみとなりました。47年卒の皆様、来年3月までにはぜひ！

(広報・IT委員会)

事業計画（案）

第42期 事業計画（案）

自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日

- 同窓会活動の活性化
 - 組織の改革と強化
 - 同窓会名簿の整備と活用
 - 本部・支部の連携強化と支部活動の積極的推進
 - 支部未結成県への結成促進
 - 支部長会への支援
 - 支部による会員の掘り起こし
 - 同期会結成の積極的推進
 - 団体活動支援（同期会運営）
 - 広報活動の充実
 - 職業別ネットワーク作り
- 母校サポート体制の強化
 - 熱血講座、その他講座への講師派遣
 - アライアンス企業紹介の推進
- 財政基盤の強化
 - 同窓会年会費「維持会費」の徴収促進
 - 入会金及び華甲会費の徴収促進
- ホームカミングデーの実施
- 同窓会功労者に対する感謝状の贈呈
- 同窓会専従職員の雇用充実
- 学生会員に対する事業の推進
 - 学生助成金の贈呈
 - 奨学金の給付
- 同窓会発展のための諸事業
 - 同好会活動の推進
 - 瑞穂会ゴルフコンペ
 - 同窓会会員の親睦と情報交換
 - 講演会の開催⇒総会時での学長講演
- その他

収支計算書（決算見込書）

第41期 収支計算書

(決算見込書)

自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日

(単位：千円)

入会金収入	16,780
華甲会費収入	500
年会費「維持会費」収入	3,102
總會費収入	1,008
寄付金収入	50
広告料収入	600
受取利息収入	619
前年度繰越金	9,473
収入の部合計	32,132
会議費	988
講演会費	56
人件費	1,501
印刷費	3,186
通信費	4,746
消耗品費	99
賃借料	108
旅費交通費	1,778
支部助成費	2,654
団体活動助成費	440
同期会結成助成費	20
委託費	570
華甲会費納入記念品費	971
学生援助費	3,000
学生会員記念品費	334
東日本大震災義援金	1,000
雑費	331
備品購入費	130
同窓会基金への繰入支出	1,000
奨学基金への繰入支出	600
次年度繰越金	8,620
支出の部合計	32,132